

令和2年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	実務経験のある 教員による授業 科目	基礎・専門 別	単位数	選択・必修 別	開講年次・ 時期
330532123	保育実習（保育実習） Practice of Childcare	黒谷万美子		専門	2	選択	3年後期
<b>科目の概要</b>							
<p>保育士資格取得に必要な保育実習は、保育所実習、施設実習、保育実習（保育所）または保育実習（施設）の3種である。この実習は第3段階の学外本実習である。先の保育所実習の段階を踏まえ、実習経験の集大成である指導実習を行う。さらに、家庭と地域の生活実態にふれて、子ども・家庭・福祉のニーズに対する理解、判断力を養い、子育てを支援するために必要な能力を養うことを、目的としている。</p>							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
<p>子どもの観察やかかわりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深める 既習の教科や保育実習の経験を踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について総合的に学ぶ。 保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等について実際に取り組み、理解を深める。 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解する。 保育士としての自己の課題を明確化する。</p>				<p>子どもの観察やかかわりの視点を明確にすることを通して保育の理解を深めることができる 既習の教科や保育実習の経験を踏まえ、子どもの保育及び保護者支援について総合的に学ぶ。 保育の計画、実践、観察、記録及び自己評価等について実際に取り組み、理解を深めることができる。 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解することができる。 保育士としての自己の課題を明確化することができる。</p>			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、教科書・文献を使って自己学修をすることができる。					
	働きかけ力	目標を達成するために、自分ひとりではできないとき人の力をかりるための声掛けができる。					
	実行力	困難があっても目標を変更せず到達することができる。					
考え抜く力	課題発見力	思い込みや憶測でなく事実に基づいて情報を客観的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力	計画通り進まない時は、計画を見直し修正できる。					
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。					
チームで働く力	発信力	整理した内容を、的確な文章で表現できる。					
	傾聴力	人の意見を確認し、さらに自分の意見を述べるができる。					
	柔軟性	自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。					
	状況把握力	自分に割り当てられたことだけでなく、集団の中で自分ができることを考え、目標に向かって努力できる。					
	規律性	無断欠席、遅刻、居眠り、私語など講義に支障をきたす行動をせず、活動が円滑に進行するようルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力	失敗したときやプレッシャーで動揺したり、落ち込んだりしても、長く引きずることなく次へ進むことができる。					
<b>テキスト及び参考文献</b>							
教科書；保育実習指導の時間に用いたテキストや手引書 参考文献；保育所保育指針							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
（科目）保育にかかわるすべての科目 （資格）保育士							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
これまで学習してきた保育に関する科目を復習するとともに、パネルシアター、手遊び、ピアノ等の準備をしておくこと。また、これまでの学外活動の事前指導として受けた内容、事後の感想や反省を思い起こし、役立てようとする姿勢が不可欠である。実習を行ったその日の記録を丁寧に書くことで、一日の振り返りを行うとともに、次の目標を考える姿勢が不可欠である。				積極的な実習態度、節度と責任をもった行動が不可欠である。			

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記(レポート含む)・実技・口述試験		①				
				②				
				③				
				④				
				⑤				
	平常評価	小テスト			①			
					②			
					③			
					④			
					⑤			
		レポート	90				①	✓
							②	✓
							③	✓
							④	✓
							⑤	✓
		成果発表(プレゼンテーション・作品制作等)					①	
							②	
							③	
							④	
							⑤	
学修行動	社会人基礎力(学修態度)	10		①	✓			
				②	✓			
				③	✓			
				④	✓			
				⑤	✓			
				総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
<p>Aは右記に加えて、今後の自分の課題や、保育士になるにあたって必要な課題に積極的に取り組もうとする姿勢が持てる。S(秀)については、実習園での評価も加味して、実際の実習の取り組みの具合、意欲、課題発見意識と改善の計画等々の諸要素を分かる形で実践していることとする。</p>	<p>これまでに学んできた保育の科目の復習や準備を行い、誠実な態度で実習に望み、毎日の実習に真摯に取り組むことができる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	保育所の役割や機能の具体的展開 (1) 養護と教育が一体となつて行われる保育について、実践的に取り組み理解を深める。	実習	責任と主体性を持って実習に望むことができる。	予習: 次の活動準備を行う60分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する60分	2H	12のすべての力
2週 /	保育所の役割や機能の具体的展開 (2) 保育所の社会的役割と責任について、実践的に取り組み理解を深める。	実習	責任と主体性を持って実習に望むことができる。	予習: 次の活動準備を行う60分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する60分	2H	12のすべての力
3週 /	観察に基づく保育理解 (1) 子どもの心身の状態や活動の観察から、保育への理解を深める。	実習	責任と主体性を持って実習に望むことができる。	予習: 次の活動準備を行う60分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する60分	2H	12のすべての力
4週 /	観察に基づく保育理解 (2) 保育士等の動きや実践の観察から、保育への理解を深める。	実習	責任と主体性を持って実習に望むことができる。	予習: 次の活動準備を行う60分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する60分	2H	12のすべての力
5週 /	観察に基づく保育理解 (3) 保育所の生活の流れや展開について、観察と実践から理解を深める。	実習	責任と主体性を持って実習に望むことができる。	予習: 次の活動準備を行う60分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する60分	2H	12のすべての力
6週 /	子どもの保育環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育を実践し、理解を深める。	実習	責任と主体性を持って実習に望むことができる。	予習: 次の活動準備を行う60分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する60分	2H	12のすべての力
7週 /	保護者への支援 入所している子どもの保護者支援について実践し、理解を深める。	実習	責任と主体性を持って実習に望むことができる。	予習: 次の活動準備を行う60分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する60分	2H	12のすべての力
8週 /	家庭への支援 入所している子どもの地域の子育て家庭への支援について実践し、理解を深める。	実習	責任と主体性を持って実習に望むことができる。	予習: 次の活動準備を行う60分 復習: その日の活動を振り返り、記録・反省する60分	2H	12のすべての力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	地域社会との連携 入所している子どもの地域 社会との連携について取り 組む。	実習	責任と主体性を持って 実習に望むことができ る。	予習: 次の活動準 備を行う60分 復習: その日の活動 を振り返り、記 録・反省する60分	2H	12 のす べて の力
10週 /	指導計画 (1) 保育課程に基づく指導計画 の作成・実践・省察・評価 の実践を行い、保育の過程 の理解を深める。	実習	責任と主体性を持って 実習に望むことができ る。	予習: 次の活動準 備を行う60分 復習: その日の活動 を振り返り、記 録・反省する60分	2H	12 のす べて の力
11週 /	指導計画 (2) 作成した指導計画に基づい た保育実践を行い、評価を 行う。	実習	責任と主体性を持って 実習に望むことができ る。	予習: 次の活動準 備を行う60分 復習: その日の活動 を振り返り、記 録・反省する60分	2H	12 のす べて の力
12週 /	保育士の業務と職業倫理 (1) 多様な保育の展開と専門職と しての保育士の業務について 実践し、理解を深める。	実習	責任と主体性を持って 実習に望むことができ る。	予習: 次の活動準 備を行う60分 復習: その日の活動 を振り返り、記 録・反省する60分	2H	12 のす べて の力
13週 /	保育士の業務と職業倫理 (2) 多様な保育の展開と専門職と しての保育士の職業倫理につ いてについて理解を深める。	実習	責任と主体性を持って 実習に望むことができ る。	予習: 次の活動準 備を行う60分 復習: その日の活動 を振り返り、記 録・反省する60分	2H	12 のす べて の力
14週 /	自己の課題の明確化 (1) 実習のまとめ活動の中で、 保育士としての自己の課題 を明確化する。	実習	責任と主体性を持って 実習に望むことができ る。	予習: 次の活動準 備を行う60分 復習: その日の活動 を振り返り、記 録・反省する60分	2H	12 のす べて の力
15週 /	自己の課題の明確化 (2) 自己の課題を明確化するこ とで、次の自己の課題を見 出す。	実習	責任と主体性を持って 実習に望むことができ る。	予習: 次の活動準 備を行う60分 復習: その日の活動 を振り返り、記 録・反省する60分	2H	12 のす べて の力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力